

332. 平川君ノ一定理ニツイテ

松村 宗 治 (台北大)

日本数学輯報第十二卷第二号第四十六頁ニ於ケル平川君ノ有益ナル論文ニツイテ考ヘルコトニスル。

今同論文 §3ニ於ケル (1)ノ代リニ

$$(1) \quad b = 2 \frac{((\varphi_2 - \varphi_1)\xi_1)}{(k_1\xi_1) + (k_2\xi_2)}$$

ト置キ同氏ノ論文ヲ一般化シマウト思フ。

但シ k ハ *Compositio Math.* Vol. 1, p. 429ニ於ケル Witt氏論文ニ於ケル記号ヲ採用シタ。尚以下モ同氏論文ヲ用ヒルコトニスル下ノ様ニナル。

$$(2') \quad b = 2 \frac{p_1 + p_2}{Q_1 \bar{K}_1^{\frac{1}{4}} + Q_2 \bar{K}_2^{\frac{1}{4}}}$$

ツマリ平川君ノ (2)ノ代リニ (2')ガ成立チ $Q=1$ ニナル場合ニハ平川君ノ場合ニナル。

尚又

$$\frac{2}{b} = \frac{1}{Q_1 P_1} + \frac{1}{Q_2 P_2}$$

がいへル。つまり b は $Q_1 P_1$ と $Q_2 P_2$ とノ調和中項 = ナル。

コレが平川君ノ上記雜誌第47頁ニ於ケル Theorem 1 = 對應スルモノナル。

又同 Theorem 2 モ亦次ノ様ニシテいへル。同氏論文ニ於ケル Theorem 2 = 於ケル $\varphi_1 - \varphi_2$ と $\psi_1 - \psi_2$ とガ平行トイフ代リ = $\varphi_1 - \varphi_2$ と $h_1 - h_2$ とガ平行トイフコトヲ置キ直ストヨイ。

但シ其ノ証明デ $\psi_{i,c} = B_i^k \varphi_{i,k}$ ノ代リ =

$$h_{i,c} = \beta_i^k \varphi_{i,k}$$

ヲ採用セバヨイ。

斯ノ如クシテ 擬似幾何ノ問題ヘ Witt 氏ノ論文ヲ應用シテ一般化シヨル場合ガ相當多イト思フ。

拙著論文：台北帝大理農学部紀要第十五卷第百二十八頁ノ定理ヘモ同様ノ適用ガ可能デアロウ。

以上ノ擬似幾何 = ツイテノ小注意デアル。